

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	22786
事業名	防災普及啓発推進費					
評価担当課	所属名	危)危機管理部 危機管理課				
	課長名	山崎 克己	担当者名	齋藤、酒巻	電話番号	011-211-3062
施策名	主	災害に備えた地域防災体制づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	DIGマスターフォローアップ研修等の実施により、従来の防災リーダーから一歩進んで、防災訓練や研修等の自主防災活動を主体的に企画立案し、推進できる人材の育成に努める。			
		長期	将来の防災の担い手となる小中学生の防災意識及び知識の醸成を効果的に図るために、学校における防災教育の充実強化を図っていく。			
	取組内容	防災協働社会の実現にむけて、「地域防災力の向上と活性化」及び「地域における防災教育の推進」のため、以下の取組を実施する。①時間外勤務手当:各区、DIG実施支援に係る時間外②防災教育セミナー:防災教育推進のためのセミナー③防災表彰・自主防災講演会:自主防災活動促進のための表彰式及び講演会④防災資機材・防災教育用教材:防災資機材助成及び児童生徒の防災意識啓発を目的とした教材の配布⑤DIGフォローアップ研修: DIGの進行役の養成と地域における防災意識の高揚と防災対応力の向上⑥防災ハンドブックの改定版の作成				
	実施結果	<ul style="list-style-type: none"> ・防災啓発パンフレット「さっぽろ防災ハンドブック」を全面改訂 初版30,000部発行 ・小中学生向け防災教育教材の配布 対象:市内全市立小中学校 ・自主防災組織に対する防災資機材の助成 4件 				
事業実施における工夫点	防災啓発パンフレットの改定業務については、市民の行動変容を目指した高度な創意工夫を盛り込むため、公募型企画競争により業者を選定し、事業を実施した。					
対象者	市民等	開始	平成31年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	災害対策基本法 札幌市自主防災活動推進要綱					
他都市の状況	他の政令市においては、補助金又は資機材による助成を行っているところもあり、また、最新の知見をが取り入れられた内容のパンフレットを配布している。 学校教育の場において防災教育を実施している事例もある。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	6,011	11,000	9,899	15,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.7	0.7	0.7	0.7	
人件費	5,040	5,040	5,040	5,040	
計(事業費+人件費)	11,051	16,040	14,939	20,040	
事業費の内訳	令和3年度決算	<ul style="list-style-type: none"> ・防災啓発パンフレット改訂:4,048,000円 ・防災教育用教材の印刷・配布(小中学校):3,430,658円 ・各区予算配分(時間外):1,182,871円 ・その他:1,237,323円 			
	令和4年度予算	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育教材の改訂:7,688,000円 ・防災資機材の助成:3,388,000円 ・その他:3,924,000円 			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	小・中学校における防災教育用教材の活用割合			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	60	63	72	73	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	災害に対する備えを行っている家庭の割合			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	78	80	91.4	92	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時には自ら適切な行動をとることができるように、平時の備えや避難の判断、災害時の情報収集などに役立つ情報をまとめた「さっぽろ防災ハンドブック」を制作した。 ・小中学校における防災教育に役立てるため、市内小中学校に防災教育教材を配布した。 			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	平成25年に初版となる「さっぽろ防災ハンドブック」と制作以降、年間2万部程度の需要があり、改訂にあたっては初版30,000部とした。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	さっぽろ防災ハンドブックの改訂にあたっては、市民の防災意識を醸成し、行動変容につなげるための高度な企画力を有する業者を選定し実施した。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	さっぽろ防災ハンドブックの制作と併せて作成したクイズ動画やステッカー、ロゴマーク等を活用し、多くの機会での市民の防災意識の醸成を行っている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	今後も、必要に応じてパンフレットの増刷、改訂を行っていく。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	「さっぽろ防災ハンドブック」を30,000部増刷した。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	さっぽろ防災ハンドブックの需要が高いため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 最新の情報を掲載できるよう、必要に応じてパンフレット等の改訂を行っていく。			
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他		見直し効果額	0
		現在と同程度の予算の中で実施するよう努める。			